

オープンカウンター方式による見積り依頼について

- 1 本リストは、オープンカウンター方式実施要項に基づく手続きが必要です。
- 2 本方式は随意契約を前提とした見積り依頼であり、有効な見積り書をもって申し込みをした者のうち、予定価格の範囲内で最低の価格の見積り書をもって申し込みをした者を契約の相手方とします。

3 件名リスト

| 一連 番号 | 件名 | 納入（履行） 場所 | 納期 （履行期間） | 見積り依頼書 公表日 | 見積り書 提出期限 | 見積り合わせの 日時 | 防衛省競争 参加資格 | 備考 |
|----------|------------------|--------------|--------------|---------------|--------------|------------------|---------------|----|
| 17 | 千僧（7）ボイ ラー等整備 | 千僧駐屯地 | 7.10.31 | 7.5.13 | 7.5.20 | 7.5.20 14時00分 | | |

- 4 駐屯地用標準契約の役務請負契約条項、談合等の不正行為に関する特約条項、暴力団排除に関する特約条項とする。
- 5 仕様書の交付場所、契約条項等を示す場所、問合せ先及び提出先

〒664-0014

住所 兵庫県伊丹市広畑1-1

契約機関名（担当） 第352会計隊（担当：谷口）

電話番号：072-781-0021（内線3346）

F A X ： 072-779-6700

市価調査書

5月16日(金)
12時まで返送をお願いします

分任契約担当官
陸上自衛隊千僧駐屯地
第352会計隊長 大山 堅郎 殿

※契約金額については見積金額に10%に相当する額を加算（円位未満切捨て）した金額とします。

¥ (消費税を含まない)

履行場所： 千僧駐屯地

履行期間： 令和7年10月31日

内 訳 (外税)

㊞

| | 品 名 | 規 格 | 単 位 | 数 量 | 単 価 | 金 額 | 備 考 |
|----|--------------|---------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1 | 千僧（7）ボイラー等整備 | 仕様書のとおり | ST | 1 | | | |
| 2 | | 以下余白 | | | | | |
| 3 | | | | | | | |
| 4 | 【金額内訳】 | | | | | | |
| 5 | ボイラー洗缶 | 仕様書のとおり | 基 | 2 | | | |
| 6 | 安全弁分解整備 | 〃 | 式 | 2 | | | |
| 7 | 燃焼調整 | 〃 | 式 | 1 | | | |
| 8 | 現場監督費 | | 式 | 1 | | | |
| 9 | 交通費 | __人__往復 | 式 | 1 | | | |
| 10 | 諸経費 | | 式 | 1 | | | |
| 11 | | | | | | | |
| 12 | | | | | | | |
| 13 | | | | | | | |
| 14 | | | | | | | |
| 15 | | | | | | | |

- なつ印は鮮明に、訂正箇所には代表者印、2枚続きには割印を
- 上記の公告又は通知に対して「入札及び契約心得」及び「標準契約書等」の契約条項を承諾のうえ入札見積いたします。
- 当社(私(個人の場合)、当団体(団体の場合))は、暴力団排除に関する誓約書に定める事項について誓約いたします。

見 積 書

分任契約担当
陸上自衛隊千僧駐屯地
第352会計隊長 大山 堅郎

殿

※契約金額については見積金額に10%に相当する額を加算（円位未満切捨て）した金額とします。

¥

(消費税を含まない)

履行場所：千僧駐屯地
履行期間：令和7年10月31日
見積期日：令和7年5月20日 14時00分
契約保証金：免 除

印

内 訳 (外税)

| 品 名 | 規 格 | 単 位 | 数 量 | 単 価 | 金 額 | 備 考 |
|----------------|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1 千僧（7）ボイラー等整備 | 仕様書のとおり | ST | 1 | | | |
| 2 | 以下余白 | | | | | |
| 3 | | | | | | |
| 4 【金額内訳】 | | | | | | |
| 5 ボイラー洗缶 | 仕様書のとおり | 基 | 2 | | | |
| 6 安全弁分解整備 | 〃 | 式 | 2 | | | |
| 7 燃焼調整 | 〃 | 式 | 1 | | | |
| 8 現場監督費 | | 式 | 1 | | | |
| 9 交通費 | __人__往復 | 式 | 1 | | | |
| 10 諸経費 | | 式 | 1 | | | |
| 11 | | | | | | |
| 12 | | | | | | |
| 13 | <p>上記に関して「入札及び契約心得」、「オープンカウンター方式実施要領」及び「標準契約書等」の契約条項等を承諾の上、入札見積りいたします。</p> <p>また、当社（私（個人の場合）、当団体（団体の場合））は、「入札及び契約心得」に示された暴力団排除に関する誓約事項について、誓約いたします。</p> | | | | | |
| 14 | | | | | | |
| 15 | | | | | | |

仕 様 書

- 1 件 名：千僧（7）ボイラー等整備
- 2 場 所：兵庫県伊丹市広畑1丁目1番 陸上自衛隊 千僧駐屯地
- 3 期 間：契約締結日～令和7年10月31日（金）
- 4 概 要

| 項 目 | 規 格 | 数 量 | 備 考 |
|-----------|--------------|-----|-----|
| 1 ボイラー洗缶 | 高尾鉄工所 FTH-35 | 2 基 | |
| 2 安全弁分解整備 | | 2 式 | |
| 3 燃焼調整 | サンレー TMR-35 | 1 式 | |

5 一般事項

- (1) 作業は、本仕様書及びメーカーの仕様に基づき実施する。
- (2) 本仕様書及び図面に記載無き事項で、疑義が生じた場合は監督官と調整し、その指示に従い実施すること。
- (3) 請負者は、作業の主要な段階及び監督官の指示する場所において写真撮影を実施すること。項目は、着手前・中・後、隠蔽部分、使用材料及び監督官の指示箇所とする。また写真は、作業完了後速やかに現像し、A4判アルバム（プリント可）に整理のうえ1部提出すること。
- (4) 作業実施中において、管理施設及び人員に損傷・損害を与えた場合は速やかに監督官に報告するとともに、請負者の責任において補償及び復旧すること。
- (5) 作業実施に際し、仕様書・図面に明記なき事項であっても、当然必要と考えられる事項については監督官と協議のうえ指示に従い実施すること。
- (6) 作業実施に際し、請負者は作業条件を作業関係者に十分把握させると共に作業員に対して安全教育を実施し安全な作業方法の確認及び安全点検を確実に実施すること。
- (7) 駐屯地の出入門時間は、8時30分～17時00分とする。ただし、夜間作業実施時等の場合でこれを超える時間については監督官と協議するものとする。
- (8) 作業中、故障等を発見した場合は、速やかに原因を調査するとともに、監督官に報告のうえ、修理費見積書を提出すること。
- (9) 作業に使用する器材等は請負者の責任において使用するものとし、既存施設に損害を与えないよう注意すること。
- (10) その他不明な事項、提出書類等はその都度監督官と協議し、指示に従うこと。

6 特記事項

(1) ボイラー洗缶

ア ガasket、パッキン等の交換部品は別表（交換部品一覧表）による。パッキン類は、第1回は官給品支給とし、第2回は請負者側で準備するものとする。

イ 作業内容

- (ア) マンホール、給水箱取外し清掃
- (イ) 本体内部（水部）煤除去及び清掃

- (ウ) 炉筒内部、煙管内部煤除去及び清掃
- (エ) 炉筒外部、煙管外部煤除去及び清掃
- (オ) 検査穴取外し整備
- (カ) 各付属品（主蒸気弁、連続ブロー等）の分解整備及び組立・取付
- (キ) 安全弁、吹出弁等の更新部品については組立・取付
- (ク) ボイラー等性能検査への立会
- (ケ) ボイラー組立、復旧
- (コ) ボイラー試運転・調整

イ 作業要領

- (ア) 整備内容の細部や取替部品については、監督官の指示を受けて行うこと。
- (イ) ボルト類は再利用とするが、作業に伴い破損した場合、請負者において在来品と同等以上の新品に交換すること。
- (ウ) 炉筒内（第2燃焼室）煤の除去は、主に電動工具（チューブクリーナー等）で実施すること。
- (エ) ボイラー内部の清掃作業は、ディスクサンダー及びワイヤーブラシ等により実施し、水洗い後に乾燥させること。このときピッチングやクラック等を発見した場合は速やかに監督官に報告すること。
- (オ) 胴内部に取付られている給水内管及びその付属品は胴外へ取外し清掃すること。
- (カ) 火炎の放射熱を受ける伝熱面、板の重ね際、管及びブステーの取付部、フランジ部その他隅々を特に念入りに清掃すること。
- (キ) ボイラー内部洗缶作業は確実に実施すること。

(2) 安全弁分解整備

ア 安全弁分解整備の機器一覧は別表（安全弁分解整備一覧表）による。

イ 作業内容

- (ア) 弁座及び弁体の腐食、傷、割れの確認、摺合せ整備
- (イ) 弁棒の腐食、傷、割れの有無の確認、研磨整備
- (ウ) バネ及びその他の部品腐食、変形、折損の有無の確認、ブラシ整備
- (エ) 吹出し及び吹止り調整圧力の確認
- (オ) 安全弁の納まり状況及び外観の確認
- (カ) 安全弁単独吹出し試験
- (キ) Oリング交換

イ 作業要領

- (ア) 安全弁分解整備の細部実施要領や取替部品については、監督官の指示を受けて行うこと。
- (イ) 安全弁吹出し試験については、安全弁吹出し試験装置等を準備し、窒素ガスにより吹出し試験を行うこと。

(3) 燃焼調整

ア 測定記録は調整前・調整後に分けて作成すること。

イ 燃焼調整の際の測定・調整項目

- (ア) 燃焼量($\text{m}^3/\text{h r}$)（実測）
- (イ) 各部弁開度(マニポテ、調量弁、1次ダンパ、2次ダンパ)
- (ウ) 各部ドラフト(ウインドボックス、炉内)
- (エ) 各部供給圧力(供給圧、2次圧、バーナ入圧)

- (d) フレーム電流
- (e) 排ガス分析(O₂、排ガス、CO)
- (f) その他メーカー仕様に基づく測定・調整

ウ 燃焼調整については6月16日から7月11日の間で行うものとする。

(4) ボイラー検査への立会

ア 吹出し・吹止まり圧力の写真及び整備前後の部品写真を撮影し、試験結果表として整理し、検査前日までに提出すること。

イ ボイラー性能検査に立会をすること。

(5) 作業完了日等については別表（作業完了日等一覧表）による。

7 提出書類

(1) 種類・部数

| | | |
|---|------------------|-----------------|
| ア | 工程表 | 1部（契約後すみやかに） |
| イ | 現場代理人等指名・変更通知書 | 1部（契約後すみやかに） |
| ウ | 着工(着手)届 | 2部（着工(着手)当日） |
| エ | 竣工(完了)届 | 2部（竣工(完了)当日） |
| オ | 打合簿、日誌 | 1部（その都度） |
| カ | 材料検査簿 | 1部（材料搬入時） |
| キ | 使用材料承認願及び承認図等 | 1部（必要時のみ） |
| ク | 作業写真 | 1部（完了後すみやかに） |
| ケ | 契約金額内訳明細書 | 1部（契約後すみやかに） |
| コ | 試運転(燃焼試験)報告書 | 1部（点検終了後すみやかに） |
| サ | 修理費見積書 | 1部（すみやかに）※必要時のみ |
| シ | その他指示された書類（その都度） | |

(2) 提出方法

提出書類一式を綴じる事が可能なファイル等と共に提出すること。

8 完成検査

作業及び提出書類の提出完了後、検査官の完了検査合格をもって完了とする。手直しが生じた場合は、手直し完了後検査官の再検査を実施し検査合格をもって完了とする。

交換部品一覧表

| 番 号 | 品 名 | 規格・仕様 | 数 量 |
|-----|--|--|-----|
| 1 | マンホール用ガスケット | 高尾鉄工所 300*400 mm 同等品以上 | 1 |
| 2 | 掃除穴用ガスケット | 高尾鉄工所 225A (10K) 同等品以上 | 1 |
| 3 | 検査穴用ガスケット | 高尾鉄工所 80A (10K) 同等品以上 | 5 |
| 4 | 安全弁用ガスケット | 高尾鉄工所 65A (20K) 同等品以上 | 1 |
| 5 | 電極式水位発信器用ガスケット | 高尾鉄工所 90A (10K) 同等品以上 | 2 |
| 6 | フロート式水位検出器用ガスケット | 高尾鉄工所 MC150 用 同等品以上 | 1 |
| 7 | 水面計コック用ガスケット | 高尾鉄工所 20A (10K) 同等品以上 | 4 |
| 8 | 水面計 ABS 型コック用スリーブパッキン | 高尾鉄工所製純正品または同等品以上 | 6 |
| 9 | 水面計用グランドパッキン | 高尾鉄工所製純正品または同等品以上 | 4 |
| 10 | 水面計用銅パッキン (上部プラグ、ドレンコック) | 高尾鉄工所 $\phi 28 * \phi 23 * 1.5$ mm 同等品以上 | 4 |
| 11 | 連続ブロー用パッキン 連続ブロー装置ミニブロー (-FB、-FO) 型 | HOT-600MAE-F アクアス純正品または同等品以上 | 2 |

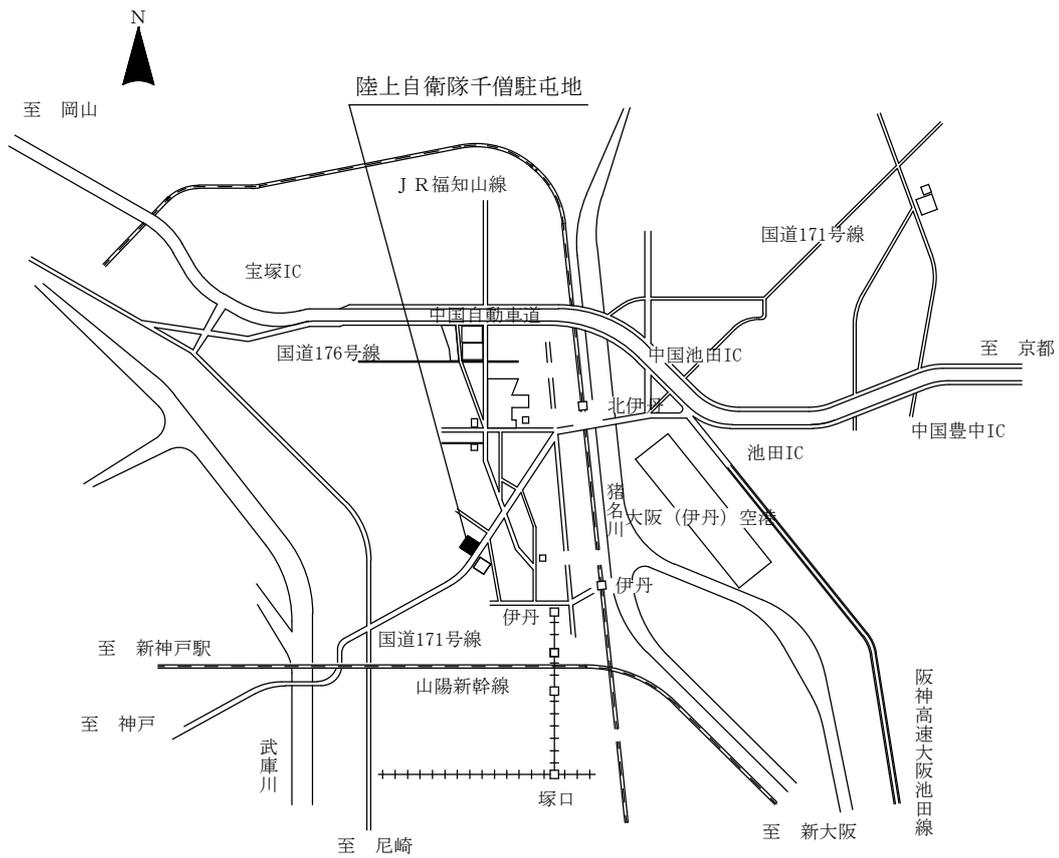
作業完了日等一覧表

| | 第1回 | | | 第2回 | | |
|---------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|
| | 整備完了日 | 性能検査日 | 復旧完了日 | 整備完了日 | 性能検査日 | 復旧完了日 |
| ボイラー洗缶 | 6月6日 | 6月9日 | 6月13日 | 10月16日 | 10月17日 | 10月23日 |
| 安全弁分解整備 | 6月6日 | 6月9日 | | 10月16日 | 10月17日 | |
| 備考 | 1号缶 | | | 2号缶 | | |

※細部は監督官の指示による。

安全弁分解整備一覧表

| No | 種類 | メーカー | 型式 | 設定圧力 (Mpa) | 口径 | 個数 | 設置場所 | 第1回 | 第2回 |
|----|----------|---------------|-----------|---------------|-----|----|------------|-----|-----|
| 1 | 貯湯槽 | ベン | SL37V-D3 | 0.49 | 32A | 1 | 107号(隊舎) | ○ | |
| 2 | 貯湯槽 | ベン | SL37V-D3 | 0.49 | 40A | 1 | 108号(隊舎) | ○ | |
| 3 | 貯湯槽 | ベン | SL37V-D3 | 0.49 | 40A | 1 | 109号(浴場) | | ○ |
| 4 | 貯湯槽 | ベン | SL37V-D3 | 0.49 | 40A | 1 | 109号(浴場) | ○ | |
| 5 | フラッシュタンク | ベン | SL37V-D4 | 0.69 | 20A | 1 | 109号(浴場) | ○ | |
| 6 | 貯湯槽 | ベン | SL37V-D3 | 0.49 | 40A | 1 | 111号(隊舎) | ○ | |
| 7 | 貯湯槽 | ベン | SL37V-D3 | 0.49 | 25A | 1 | 112号(食堂) | | ○ |
| 8 | 貯湯槽 | ベン | SL37V-D3 | 0.49 | 32A | 1 | 137号(隊舎) | | ○ |
| 9 | 貯湯槽 | ベン | SL37V-D3 | 0.49 | 32A | 1 | 137号(隊舎) | | ○ |
| 10 | ボイラー | 東亜バルブエンジニアリング | S1627 全量式 | 0.99 | 50A | 1 | 160号(ボイラー) | ○ | |
| 11 | ボイラー | 東亜バルブエンジニアリング | S1627 全量式 | 0.99 | 50A | 1 | 160号(ボイラー) | | ○ |



案内図 S=N/S



整備場所：108号（隊舎）
 ・安全弁分解整備（40A×1）

整備場所：111号（隊舎）
 ・安全弁分解整備（40A×1）

整備場所：137号（隊舎）
 ・安全弁分解整備（32A×2）

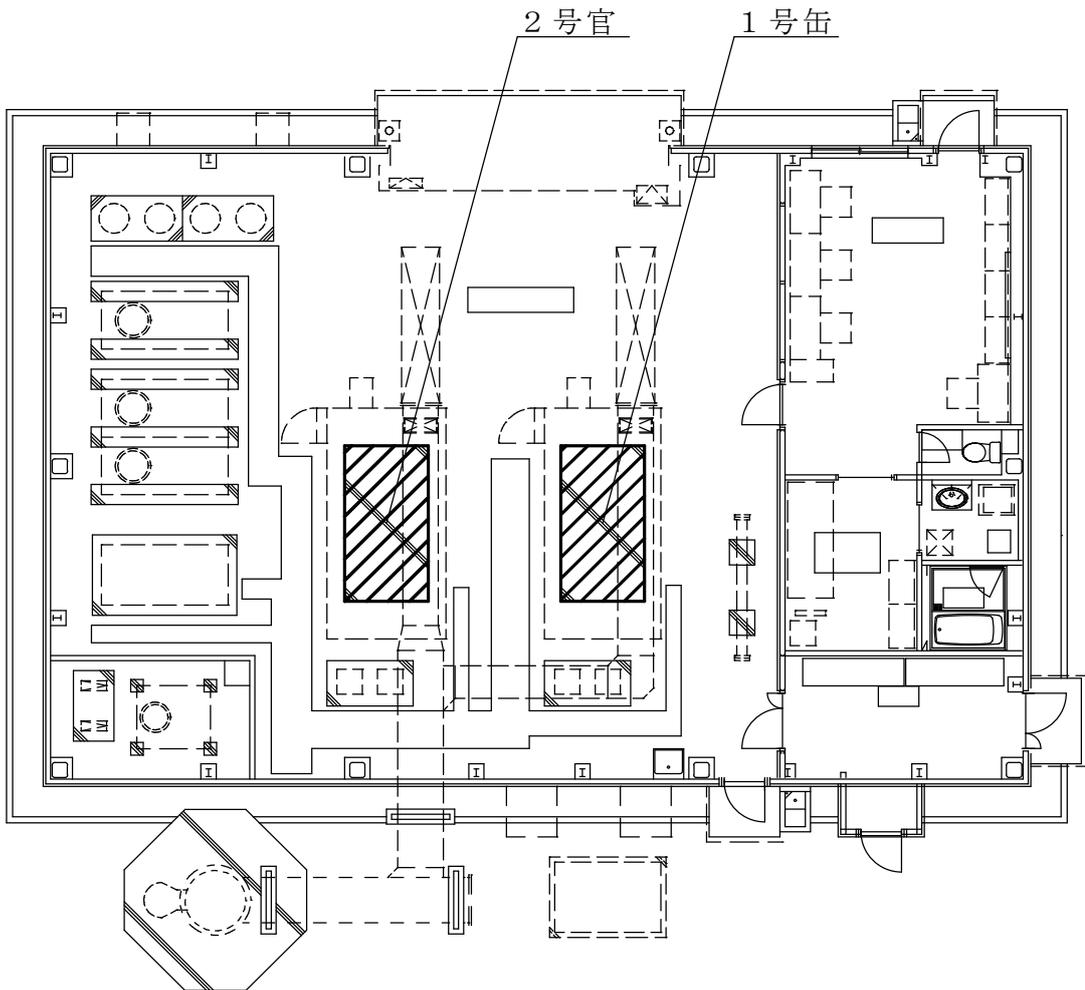
整備場所：109号（浴場）
 ・安全弁分解整備（40A×2）
 ・安全弁分解整備（20A×1）

整備場所：107号（隊舎）
 ・安全弁分解整備（32A×1）

整備場所：160号（ボイラー）
 ・ボイラー洗缶 2基
 ・安全弁分解整備（50A×2）
 ・燃焼調整

整備場所：112号（食厨）
 ・安全弁分解整備（25A×1）

千僧駐屯地配置図 S=N/S



110号ボイラー室平面図 S=1/150